

EXTRA UNIT 2

EXERCISES

《解答》

- A (1) school, subway (2) the (3) the (4) a (5) the (6) lunch
(7) a small (8) the
- B (1) the only student
(2) in an [one] hour
(3) by the gram
(4) all the novels
- C (1) I have never seen such a wonderful [an amazing] movie (before). /
I have never seen so wonderful [amazing] a movie (before).
(2) Diana kissed me on the cheek.
(3) Steve goes to karaoke with his family once a month.
(4) What is the best way to learn [study] English?
(5) Mr. [Ms.] Tanaka was elected mayor of this city.
(6) Cats do not listen to what their owners say. /
The cat does not listen to what its owner says.

《和訳》

- A 正しい答えを選びなさい。
- (1) 私の兄〔弟〕はたいてい地下鉄で学校へ行きます。
 - (2) エマは食堂で私の肩をポンポンとたたいた。
 - (3) このネコカフェでは1時間単位でお金を支払う。
 - (4) ケンはアルバイトで月3万円稼ぐ。
 - (5) 私たちは寝坊した。次の電車に乗ろう。
 - (6) 私たちはイタリア料理店で一緒に昼食をとった。
 - (7) どうしてそんなに小さなシャツを買ったの。
 - (8) 私の町は京都の北部にある。
- B カッコ内を埋めて文を完成させなさい。
- C 以下のものを英語で表現しなさい。

《解説》

- A
- (1) 7. go to school 「学校へ行く」の school は「学校（の建物）」という具体的なものではなく、そこで行われる「授業」という行為を表している。よって、無冠詞単数形で用いる。また、by subway は地下鉄という交通機関を表すので、こちらも無冠詞単数形で用いる。
 - (2) 4. tap + 人 + on the shoulder で「～の肩をポンポンとたたく」。「肩」は目的語の「人」のものであると特定できるので the がつく。

《表現》

cafeteria [kæfətɪəriə] は「カフェテリア（セルフサービスの食堂）、学食、社員食堂」。BrEで

は canteen ともいう。

- (3) 3. by the hour は「1時間単位で」。by the+単位を表す名詞で「～単位で」となる。

《表現》

cafe は「(軽食を出す小さな) レストラン, カフェ」。

- (4) 5. 30,000 yen a month は「月 3 万円」。a [an]は時間・重さなどの単位を表す名詞の前に置いて、「～1 つにつき (=per)」の意味を表す。

《表現》

earn は「(労働によって, 金・報酬) を得る, 稼ぐ」。a part-time job は「アルバイト」。「アルバイトする」は do a part-time job, work part-time.

- (5) 2. the next train は「次の電車」。この次の電車は話し手と聞き手の間で 1 つに特定できるため, 定冠詞 the がつく。

- (6) 6. lunch は具体的な「食べ物」ではなく「昼食 (を食べる)」という行為 (=抽象名詞) を指すので無冠詞単数形。

- (7) 9. 〈such a [an] (+形容詞) +名詞〉で「こんな～」。冠詞の位置など語順に注意。

- (8) 2. 方角を示す north はもともと 1 つしかなく, どれを指すか特定できるので定冠詞 the がつく。

《表現》

A is in the north of B. は「A は B の北部にある」。この場合, A は B の内部にある。A is to the north of B. は「A は B の北方にある」。この場合, A は B と離れている場合と隣接している場合のどちらでも用いられる。A is on the north of B. は「A は B の北にある」。この場合, A が B に接触している。

B

- (1) 2. 「唯一の生徒」は 1 人に特定できるので, the only student と定冠詞 the をつける。

- (2) 3'. 日本語から「1 時間で→1 時間後に」という表現を作るとわかるので, 経過を表す前置詞 in を用いて, in an hour とする。特に注意が必要な冠詞の使い方ではないが, hour は[áuə]と発音するため, 不定冠詞が an になることに注意。なお, homework は不可算名詞だが, assignment は可算名詞である。

- (3) 3. 「グラム単位で」の「グラム」は gram。「～単位で」は by the +単位を表す名詞を用いるので by the gram となる。chocolate [tʃó:kələt]はアクセント注意。原料としての「チョコレート」は不可算名詞だが, 「チョコレート菓子」は可算名詞。

- (4) 10. 村上春樹の「すべての小説」はすべて特定できるので all the novels となる。語順に注意。定冠詞 the は all の後ろに置く。

C

- (1) 9. 「そのような素晴らしい映画」は such a wonderful movie. such の中の語順に注意。また, such の代わりに so を用いて, so wonderful a movie も文法的には可能だが, 現在ではあまり使われない古い表現である。「～を今まで見たことがない」は現在完了の(未)経験で表して have never seen ~ (before)。

- (2) 4. 「頬」は cheek。「私の頬にキスをした」は慣用表現の kiss+人+on the ~を用いて, kiss me on the cheek となる。

- (3) 5. 「カラオケに行く」は go to karaoke. karaoke は[kãrióuki]で, 日本語の「カラオケ」とは

発音が違うので注意。「月1回」は *once a month* で、「～1つにつき」の不定冠詞 *a [an]* を用いる。「家族と一緒に」は *with one's family* .

(4) 2. 「～する最良の方法」は *the best way to do ～* . 「最良の方法」は1つしかないので定冠詞 *the* がつく。「英語を学習する」は *learn English* . *learn* は具体的に何かを身につける過程やその結果に焦点を当てた言い方. *study* は一般に「勉強（研究）する」という意味.

(5) 8. 「市長」は *mayor* . 「この町の市長に選ばれる」は *be elected mayor of this city* . *mayor* は補語となり具体的な「人物」ではなく役職を指すので無冠詞で用いる.

(6) Visual Info

「ネコというものは」とあるので、ネコという種類全体に関する内容と考える. 無冠詞複数形の *cats* を主語にした表現が最も一般的. 「～の言うことを聞かない」は *don't listen to ～* . 「飼い主」は *owners* . *Cats do not listen to their owners* .のほか、*A cat does not listen to what its owner says* .や *The cat does not listen to what its owner says* .も可. 種類全体の表現に関しては次のコラムの解説も参照.